

株式会社 デンタル タイアップ

歯科医院の健全経営を行うための

# 経営者・管理職セミナー

デンタルタイアップ+日本経営士会中国支部+産業能率大学総合研究所による企画

*Seminar Report* – セミナーレポート –

## C 段階

第1部 7月3日 / 第2部 7月10日～7月20日 / 第3部 7月24日

## C 段階

8月6日



Zoom 発信地 株式会社デンタルタイアップ（広島県広島市中区榎町 5-20）

●講師（順不同）

- 角田 祥子 様 / 税理士法人ネクサス 代表（歯科医院経営研究会 理事長）  
石井 サト子 様 / 石井@教育研究所 所長（日本経営士会 経営士）  
豊政 茂 様 / TS 経営コンサルティング 代表（日本経営士会 経営士）  
川出 泰造 様 / 川出経営コンサルタント 代表（日本経営士会 経営士）  
角田 崇文 様 / EAGLE マネジメント 代表（日本経営士会 経営士）  
板平 憲洋 様 / 株式会社いたひら経営支援事務所 代表取締役（日本経営士会 経営士）  
中谷 泰久 様 / ネットクリエイツ株式会社 経営企画室 室長（日本経営士会 経営士）

●デンタルタイアップ

- 代表取締役 小原 啓子 / 局長 枘田 博昭  
〔マネジメントスタッフ〕  
畠山 知子・河野 佳苗・藤田 昭子・石田 眞南・杉原 未佐子・平石 美和子・宮本 麻美  
〔事務局スタッフ〕  
鈴藤 瞳・藤井 千恵・的川 優華・上田 恵

# Seminar scenery



## 当日参加者の声

### C段階① 第1部 (7月3日)

今回は自医院の数値や思いが見直せて客観的に見れたので良かったです。  
以後、ローカルベンチマーキング、戦略のご指導よろしくお願い致します。

途中から参加のため、ロカベンがなんたるかを分からず聞き進めましたが、分からなかったことはテキストとオンデマンドで復習します。今日もありがとうございました！

ローカルベンチマークの言葉自体知らなかったので頑張ってみようかと思えます。

経営についての可視化が重要だと感じていたが、多岐にわたり考える必要があることがわかりました。ありがとうございました。

現在のクリニックのこと、将来のクリニックのこと、しっかり考える時間になりそうです。ありがとうございました。

ヒトとモノとで診療体制を分けて考えると理解しやすいですね。ローカルベンチマークをしっかり記入します。

## Seminar Report 2023

今まで知り得なかった情報提供であり、とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。

### C段階① 第3部 (7月24日)

今回の理解はかなり難しく感じました。今後の展望について考えたいと思います。

はっきり言って難しいです。少しでも理解できるように焦点をしばって頑張ります。

いろいろご教授いただきましてありがとうございました。やってみたうえでわからないところを質問させていただければと思います。よろしくお願いいたします。

アクションプランを考えてみたいと思います。ありがとうございました。

本日もありがとうございました。8月6日に向けて頑張ります。

5年先まで経営計画をしっかり立てて健全経営をしていきます。ありがとうございます。

苦手分野ですが、なんとか乗り越えていきたいと思います。

本日もわかりやすい講義ありがとうございました。

### C段階② (8月6日)

いままでBSとPLもわからない状態だったのでだいぶ知識は深まったと思います。

医院のなりたい姿はある程度持っているのですが、それに向けて財務だけでなく非財務もあわせて医院を進化させていきたいと思います。

まだまだ質問ができるまで行っていませんが、数字の苦手意識が軽減しました。好きとはまだまだ言えませんが、もうやるしかないです！未来の展望を描けるようになりたいので精進します。

お金＝数字は苦手意識が強いのですが、継続して学んでいきたいと思います。そのきっかけを作ってもらったのが、本セミナーだったと思います。ローカルベンチマークも初めてのことで、財務面からの分析に納得しました。少しでも数字に興味をもてるようになって良かったです。

また、今後安全経営を行うには、YESとNOの判断を自分でできるだけだけの分析と根拠が必要になってくると思うので、同じ土俵で発言・提案ができるようになるためにも、少しずつ焦らずコツコツと継続学習します。

ありがとうございました。客観的に経営状態を確認しながら将来を考えていく方法を学べたと思います。感謝申し上げます。

今日の講義ではサンプルの決算書を用いて注目する部分を学べてとても分かりやすかったです。

セミナーで学んだことを自分のものに出るよう継続して財務の勉強に取り組みます。

どうもありがとうございました。

## Seminar Report 2023

経営計画を立てることの大切さを学びました。健全な医院経営をしていくため、しっかり数字を理解して、経営計画を立てていきます。課題は訪問部門と外来部門の数字を分けて把握すること。今後の5年間の目標をたててGAPを埋めていきます。

4月から充実した研修会を開催頂きありがとうございました。沢山の学びを得ることができました。感謝です。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

## 皆様からのご質問・回答

C 段階① 第1部(7月3日)							
No.	項目	内容					
1	質問	この分析はどのくらいの間隔で行うのですか？年に1回でしょうか？					
	回答	一年に1回行えば十分です。首相官邸のホームページでは、健康診断的な感覚で使用を提案していますので、1年に1回程度で充分だと考えます。					
2	質問	一人当たり生産性など平均的な数値提示がありましたが2040年に向けて生産性の向上をどのような値を目標にしたら良いのかご教授いただければ幸いです。					
	回答	<p>厚生労働省は、絶えず情報を発信しています。</p> <p>「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめ」について103ページにわたる資料を公開していますので、詳細な数字はそこで確認されてください。総論として提示しているものを印字しています。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; display: inline-block;">2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指す。</p> </div> <p>《現役世代の人口の急減という新たな局面に対応した政策課題》</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">多様な就労・社会参加</th> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">健康寿命の延伸</th> <th style="background-color: #0070c0; color: white;">医療・福祉サービス改革</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>【雇用・年金制度改革等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 70歳までの就業機会の確保</li> <li>○ 就職氷河期世代の方々の活躍の場を更に広げるための支援 (厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン)</li> <li>○ 中途採用の拡大、副業・兼業の促進</li> <li>○ 地域共生・地域の支え合い</li> <li>○ 人生100年時代に向けた年金制度改革</li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>【健康寿命延伸プラン】</b></p> <p>⇒2040年までに、健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、<b>75歳以上</b>に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ①健康無関心層へのアプローチの強化、</li> <li>②地域・保険者間の格差の解消により、以下の3分野を中心に、取組を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等</li> <li>・疾病予防・重症化予防</li> <li>・介護予防・フレイル対策、認知症予防</li> </ul> </li> </ul> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>【医療・福祉サービス改革プラン】</b></p> <p>⇒2040年時点で、単位時間当たりのサービス提供を<b>5%（医師は7%）以上改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 以下の4つのアプローチにより、取組を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット・AI・ICT等の実用化推進、</li> <li>データヘルス改革</li> <li>・タスクシフティングを担う人材の育成、</li> <li>シニア人材の活用推進</li> <li>・組織マネジメント改革</li> <li>・経営の大規模化・協働化</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	多様な就労・社会参加	健康寿命の延伸	医療・福祉サービス改革	<p><b>【雇用・年金制度改革等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 70歳までの就業機会の確保</li> <li>○ 就職氷河期世代の方々の活躍の場を更に広げるための支援 (厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン)</li> <li>○ 中途採用の拡大、副業・兼業の促進</li> <li>○ 地域共生・地域の支え合い</li> <li>○ 人生100年時代に向けた年金制度改革</li> </ul>	<p><b>【健康寿命延伸プラン】</b></p> <p>⇒2040年までに、健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、<b>75歳以上</b>に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ①健康無関心層へのアプローチの強化、</li> <li>②地域・保険者間の格差の解消により、以下の3分野を中心に、取組を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等</li> <li>・疾病予防・重症化予防</li> <li>・介護予防・フレイル対策、認知症予防</li> </ul> </li> </ul>
多様な就労・社会参加	健康寿命の延伸	医療・福祉サービス改革					
<p><b>【雇用・年金制度改革等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 70歳までの就業機会の確保</li> <li>○ 就職氷河期世代の方々の活躍の場を更に広げるための支援 (厚生労働省就職氷河期世代活躍支援プラン)</li> <li>○ 中途採用の拡大、副業・兼業の促進</li> <li>○ 地域共生・地域の支え合い</li> <li>○ 人生100年時代に向けた年金制度改革</li> </ul>	<p><b>【健康寿命延伸プラン】</b></p> <p>⇒2040年までに、健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、<b>75歳以上</b>に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ①健康無関心層へのアプローチの強化、</li> <li>②地域・保険者間の格差の解消により、以下の3分野を中心に、取組を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成等</li> <li>・疾病予防・重症化予防</li> <li>・介護予防・フレイル対策、認知症予防</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【医療・福祉サービス改革プラン】</b></p> <p>⇒2040年時点で、単位時間当たりのサービス提供を<b>5%（医師は7%）以上改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 以下の4つのアプローチにより、取組を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット・AI・ICT等の実用化推進、</li> <li>データヘルス改革</li> <li>・タスクシフティングを担う人材の育成、</li> <li>シニア人材の活用推進</li> <li>・組織マネジメント改革</li> <li>・経営の大規模化・協働化</li> </ul> </li> </ul>					

## 多様な就労・社会参加

- 現役世代人口の急減など人口減少が進む一方、高齢者の「若返り」が見られる中、より多くの人が意欲や能力に応じ社会の担い手としてより長く活躍できるよう、
  - ①「一人ひとりの意思や能力、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を選択可能とする社会」
  - ②「地域に生きる一人一人が尊重され、多様な就労・社会参加の機会を得ながら、「縦割り」や「受け手」「受け手」という関係を超えて、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくりついでいく地域共生社会」の実現に向けた環境整備を進める。
- あわせて、エイジフリー社会への変化を踏まえて、**人生100年時代に向けた年金制度改革**に取り組む。

◀政策課題毎の主な取組▶

70歳までの就業機会の確保	就職氷河期世代の方々の活躍の場を更に広げるための支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 様々な就業や社会参加の形態も含め、70歳までの就業機会を確保する制度の創設</li> <li>◆ 高齢者の活躍を促進する環境整備（労働市場の整備、企業、労働者、地域の取組への支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域ごとの支援のためのプラットフォームの形成・活用</li> <li>◆ 就職氷河期世代、一人ひとりにつながる積極的な広報</li> <li>◆ 対象者（不安定な就労状態にある方、長期にわたり無業の状態にある方、社会参加に向けて支援を必要とする方）の個別の状況に応じたきめ細やかな各種事業の展開</li> </ul>
副業・兼業の促進	中途採用の拡大
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ガイドライン等による、原則として労働者は副業・兼業を行うことが可能である旨の周知</li> <li>◆ 健康確保の充実と労働時間管理の在り方について検討</li> <li>◆ 労災保険給付の在り方、雇用保険及び社会保険上の取扱いの在り方について引き続き検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 個々の大企業における中途採用比率の情報公開</li> <li>◆ 「中途採用・経験者採用協議会」の知見を活用した企業への働きかけ強化</li> <li>◆ ハローワークにおける求職者の状況に応じたマッチング支援の充実</li> <li>◆ 職業情報提供サイト（日本版O-NET）（仮称）の2020年中の運用開始</li> <li>◆ 中途採用等支援助成金の見直し</li> </ul>
地域共生・地域の支え合い	人生100年時代に向けた年金制度改革
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、新たな制度の創設を含め、包括的な支援体制の構築に向けた方策を検討</li> <li>◆ 地域住民をはじめ多様な主体がつながり、活動する地域共生の取組の促進</li> <li>◆ 高齢者も障害者も利用できるサービスの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 多様な就労を年金制度に取り込む被用者保険の適用拡大</li> <li>◆ 就労期の長期化による年金水準の充実 （就労・制度加入と年金受給の時期や組合せの選択肢の拡大、就労に中立的かつ公平性にも留意した高齢者年金制度等の見直し、私的年金の加入可能年齢等の見直し）</li> </ul>

## 健康寿命延伸プランの概要

- ①健康無関心層も含めた予防・健康づくりの推進、②地域・保険者間の格差の解消に向け、「自然に健康になれる環境づくり」や「行動変容を促す仕掛け」など「新たな手法」も活用し、以下3分野を中心に取組を推進。  
→2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し（2016年比）、**75歳以上**とすることを旨とする。  
2040年の具体的な目標（男性：75.14歳以上 女性：77.79歳以上）



### 医療・福祉サービス改革プランの概要

● **以下4つの改革を通じて、医療・福祉サービス改革による生産性の向上を図る**

→2040年時点において、医療・福祉分野の単位時間サービス提供量(※)について**5% (医師については7%)以上の改善を目指す**

※ (各分野の) サービス提供量÷従事者の総労働時間で算出される指標 (テクノロジーの活用や業務の適切な分担により、医療・福祉の現場全体に必要なサービスがより効率的に提供されると改善)

<p><b>I</b></p> <p><b>ロボット・AI・ICT等の実用化推進、データヘルス改革</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2040年に向けたロボット・AI等の研究開発、実用化 (未来イノベーションWGの提言を踏まえ、経済産業省、文部科学省等と連携し推進)</li> <li>◆ データヘルス改革(2020年度までの事業の着実な実施と改革の更なる推進)</li> <li>◆ 介護分野で①業務仕分け、②元気高齢者の活躍、③ロボット・センサー・ICTの活用、④介護業界のイメージ改善を行うパイロット事業を実施 (2020年度から全国に普及・展開)</li> <li>◆ オンラインでの服薬指導を含めた医療の充実 (本通常国会に薬機法改正法案を提出、指針の定期的な見直し) 等</li> </ul>	<p><b>III</b></p> <p><b>組織マネジメント改革</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 意識改革、業務効率化等による医療機関における労働時間短縮・福祉分野の生産性向上ガイドラインの作成・普及・改善 (優良事例の全国展開)</li> <li>◆ 現場の効率化に向けた工夫を促す報酬制度への見直し (実績評価の拡充など) (次期報酬改定に向けて検討)</li> <li>◆ 文書量削減に向けた取組(2020年代初頭までに介護の文書量半減)、報酬改定対応コストの削減(次期報酬改定に向けて検討) 等</li> </ul>
<p><b>II</b></p> <p><b>タスクシフティング、シニア人材の活用推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ チーム医療を促進するための人材育成(2023年度までに外科等の領域で活躍する特定行為研修を修了した看護師を1万人育成 等)</li> <li>◆ 介護助手等としてシニア層を活かす方策(2021年度までに入門的研修を通じて介護施設等とマッチングした者の数を2018年度から15%増加) 等</li> </ul>	<p><b>IV</b></p> <p><b>経営の大規模化・協働化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 医療法人・社会福祉法人それぞれの合併等の好事例の普及(今年度に好事例の収集・分析、2020年度に全国に展開)</li> <li>◆ 医療法人の経営統合等に向けたインセンティブの付与(今年度に優遇融資制度を創設、2020年度から実施)</li> <li>◆ 社会福祉法人の事業の協働化等の促進方策等の検討会の設置(今年度に検討会を実施し、検討結果をとりまとめ) 等</li> </ul>

「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめ」について 厚生労働省保険局 2019

### 社会保障制度の新たな展開を図る政策対話の成果について

- 2040年の高齢化社会を見据えた社会保障改革を進めるに当たっては、これまでの厚生労働行政の枠組みにとらわれず、様々な分野の展開の視点を取り込むことが重要。
- このため、厚生労働大臣が各業界関係者と直に意見交換する「社会保障制度の新たな展開を図る政策対話」を開催。
- **医療、介護、福祉、年金、雇用保険といった社会保障の枠内で考えるだけでなく、農業、金融、住宅、健康な食事、創業にもウイングを拡げ、関連する政策領域との連携の中で新たな展開を図っていく。**

《各分野の主な施策》

<p><b>農福連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 全国的な機運の醸成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020初パ<sup>1</sup>東京大会に合わせた、農福連携マルシェなど開催の検討</li> </ul> </li> <li>◆ 「農」「福」の広がりへの支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や困窮者、ひきこもり等に対する農作業を通じた就労・社会参加支援の展開に向けた取組の検討</li> <li>・林業や水産業、畜産業といった地域に根差した1次産業分野での、地域課題解決型の障害者就労のモデル事業の創設等の検討</li> </ul> </li> <li>◆ 地域づくりへの展開                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体や民間団体と連携した、ノウハウJAS商品のPRの取組の実施</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>住宅政策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 住まいの確保の支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援法人の取組を促進する観点から、生活困窮者自立支援制度における事業での活用等、効果的な連携方策を検討</li> </ul> </li> <li>◆ 早めの住まいの改修等の促進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・早めに住まいを改修することのメリット等をまとめたガイドラインの周知・普及</li> </ul> </li> <li>◆ 住み慣れた住まいでの生活継続への取組の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅団地の高齢者の居住支援の取組等の好事例を収集し、周知・普及</li> </ul> </li> <li>◆ 高齢者向け住まいにおける看取りの推進</li> </ul>
<p><b>金融政策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 資産形成の促進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・確定拠出年金(DC)の加入可能年齢の引上げ</li> <li>・中小企業への確定拠出年金(DC)の普及拡大</li> <li>・金融庁とも連携した個人型確定拠出年金(iDeCo)とNISAを組み合わせた資産形成や私的年金のリターン向上に向けた取組の推進</li> </ul> </li> <li>◆ 資産を有効活用できる環境の整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意後見制度等の成年後見制度の利用を促進</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>健康な食事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自然に健康になれる食環境づくり推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携による推進体制を令和2年度末までに整備し、取組を展開</li> </ul> </li> <li>◆ 健康無(低)関心層への啓発                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京での栄養サミット2020に向け我が国の栄養・食生活改善の政策を強化</li> </ul> </li> <li>◆ 高齢者等に向けた健康な食事の普及                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・咀嚼機能等が低下した人向けの食品の製造・流通拡大を支援</li> </ul> </li> <li>◆ 健康な栄養・食生活の推進に向けたエビデンスの強化</li> </ul>
<p><b>創業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 我が国で革新的な医薬品が生み出される環境整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ・テクノロジーを活用した創業支援</li> <li>・オープンイノベーションの更なる推進</li> </ul> </li> <li>◆ 日本発医薬品の国際展開の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア医薬品・医療機器規制調和の推進</li> <li>・医薬品等の国際展開に向けた環境整備のための人材育成</li> </ul> </li> <li>◆ 攻めの医薬品産業への支援</li> </ul>	



C 段階② (8月6日)		
No.	項目	内容
1	質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者向け漫画(数字の)があれば教えてください。</li> <li>・おすすめの漫画を教えてください。購入します。</li> </ul>
	回答	<p><u>会計のマンガ本です。</u></p> <p>國貞克則：簿記の知識不要！超高速・会計勉強法,PHP 研究所,2009.  國貞克則：会計初心者でも OK！超高速・財務分析法,PHP 研究所,2010.</p> <p><u>島耕作の内容と合わせて書かれています。</u></p> <p>弘兼 憲史・前田 信弘：知識ゼロからの会社の数字入門  足立 武志 (著)：知識ゼロからの経営分析入門,単行本, 2010/12/1  弘兼 憲史 (著)：知識ゼロからの決算書の読み方,単行本, 2004/3/1</p> <p><u>普通の読み切りの漫画です。</u></p> <p>竹内 謙礼 , 青木 寿幸 他：COMIC 会計天国   ,2014/8/26</p>
2	質問	デンタルタイアップさんが考える働き方改革(2024年医師の働き方改革スタート含め)を再度ご教授頂けますと幸いです。
	回答	<p>デンタルタイアップの考える「医師の働き方改革」  基本的には労働基準法厳守を旨とします。</p> <p>特に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働時間(特に時間外労働)の厳守</li> <li>・不合理な待遇差をなくす規定整備(同一労働同一賃金)の推進</li> <li>・年次有給休暇の取得義務化</li> </ul> <p>結果的には、職場環境を整備されれば、不安なく業務に取り組んで、優秀な人材確保につながると思料します。</p>
3	質問	医療法人設立によるメリット・デメリットについて教えてください。
	回答	<p>◆メリット</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人格を得ることで、社会的信用が高くなります。</li> <li>2. 事業承継がスムーズになります。(理事長の交代のみで済みます) (個人の場合は、閉院と新規開設の手続きが必要になります)</li> <li>3. 給与所得控除が受けられます (院長先生の所得が事業所得から給与所得へ変わるため。限度額があります)。</li> <li>4. 生命保険の保険料で経費算入できるものがあります。</li> <li>5. 役員退職金の支給ができます。</li> <li>6. 青色欠損金を10年間(個人は3年)控除できます。</li> <li>7. 個人の税率が高い場合、法人税率より低くなる場合が多いです。</li> <li>8. 複数(本院・分院)の医療施設を開設できます。</li> <li>9. 社会保険診療報酬の源泉徴収がなくなります(月々の振込額が多くなります)。</li> </ol>

		<p>10. 理事や監事など非常勤役員への役員報酬の支給が可能となります。</p> <p>◆デメリット</p> <p>1. 赤字でも均等割として最低 71,000 円の地方税が課税されます。</p> <p>2. 給与以外の理事長への金銭の引出については次のいずれかになります。</p> <p>①理事長先生への貸付金となり、医療法人に利息を払わなければならなくなります。</p> <p>②役員賞与とされ、法人の経費にならないにもかかわらず、個人の所得にされ所得税がかかります。</p> <p>3. 小規模企業共済掛金に加入できません。</p> <p>4. 債務者（材料仕入先、技工所、銀行など）から財務諸表（決算書）の閲覧請求をされる可能性があります。</p> <p>5. 医療法人を解散した場合に、法人にたまった利益は国のものになります。</p> <p>6. 役員が理事 3 人、監事 1 人以上必要です。</p> <p>7. 法務局に役員変更等の登記が、都道府県知事に決算書類の提出が義務づけられます。司法書士事務所への報酬が発生します。また、議事録等の書類を作成する煩雑さがあり、決算事務等も増加し、会計事務所等への報酬が増額されます。</p> <p>8. 特別な理由がない限り、安易に医療法人を解散することはできません。</p>
--	--	---

## 確認テストの解説

お詫び：回答は、全部○ですと申し上げましたが、①の文面が逆転していました。お詫びして訂正いたします。

No.	項目	内容
1	問題	貸借対照表はある時点での体質(財産)を現し、損益計算書は一定期間の財産(儲け)を示す
	解説	この度の核となる定義でした。この二つの財務諸表が基本となります。
2	問題	本当のお金の動きは、キャッシュフローしかわからない
	回答	義務化しれていないので、提出していただけない場合もあるかと思いますが、本来の組織の状況を確認するためには、必要となります。また、ここがしっかりしていると、未来会計が可能となります。この度のエクセルシートは、簡易ですが、未来が見えますのでご活用お願いいたします。
3	問題	減価償却費とは、固定資産の購入額を耐用年数に合わせて分割し、その期ごとに費用として計上するための科目である
	回答	減価償却費を理解できるとお金の解釈が楽になります。
4	問題	減価償却費は、一定期間の経費として認められているが実際に使ったお金ではない
	回答	減価償却費は、物品が古くなって再購入する段階で使えるお金と解釈して、プールしておいてください。
5	問題	利益には、売上総利益・営業利益・経常利益・当期純利益がある
	回答	簡単には、営業利益は本来の医療での利益、経常利益は医業以外でのお金の調整が入ったもの、当期純利益は税金までを払った後の残ったお金と理解します。
6	問題	一定期間においてお金が残っているかは「純利益+減価償却費-借入金返済」で計算できる

## Seminar Report 2023

	回答	営業利益を目安とする考えもありますが、私共では上記のように提示いたしました。
7	問題	組織が大きな投資をするときに、自己資本比率を確認すると決断しやすい
	回答	ここは、大きな議論となったところです。私どもも改めて注目いたしました。
8	問題	組織の経営は、院長だけでなく管理職スタッフと共に、税理士・社労士・支援者等のチームによって体制を整えることができる
	回答	チーム医療は、他の職種を巻き込むと、自信をもって展開できると説明いたしました。
9	問題	経営力向上計画は、歯科医院は厚生労働大臣に申請する
	回答	業務の主務大臣ですので、歯科医院は厚生労働大臣となります。
10	問題	医療分野の事業分野別指針では、経営資源を高度に利用する方法では勤務環境の改善を特に優先すべきと書かれている
	回答	経済産業省・中小企業庁のホームページ「事業分野に対応する事業分野別指針および基本方針」で「医療」を検索されてください。